

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

### ②施設・事業所情報

名称：	星川ルーナ保育園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 橋本 繁	定員（利用人数）：	120（129）名
所在地：	240-0006 神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川2-18-1		
TEL：	045-348-1152	ホームページ：	<a href="https://luna-hoikuen.com/hoshikawa/">https://luna-hoikuen.com/hoshikawa/</a>
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2002年6月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 あおい会		
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員：	17名
専門職員	保育士 31名	栄養士	0名
	看護師 1名	調理員	2名
	用務員 2名		
施設・設備の概要	居室数： 保育室8 調理室 事務室 休憩室	設備等：	冷暖房（床暖房）

### ③理念・基本方針

**理念**

- ・これからの社会を担う子どもたち、一人ひとりの最善の利益を保障することを基本に、心身共に健やかに育つ環境づくりに努め、地域に開かれた子育て支援を行う。

**基本方針**

- ・ひとりひとりが健康で明るく毎日を過ごせるよう、心を大切にする保育を進めていくとともに子ども同士の関わりを大切に、いろいろな経験を通してお互いが成長し合う場となるように努める。
- ・集団の生活時間が長時間に及んでも、子どもにとって家庭生活が何より大切であり基盤となるので、家庭と十分に連携をとりながら、子どもにとってのより良い保育を進めていくように心がける。
- ・子どもの健やかな育ちを求め、職員一人ひとりが資質の向上を目指し、より質の高い保育を行うとともに、人権を尊重し、プライバシーを保護することに努める。
- ・保護者が安心して子育てと仕事が両立できるよう連携を強める。また、地域へ積極的に子育て情報（育児講座・相談、交流保育、一時保育等）を発信し、地域の子育て支援の拠点となるよう努める。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

園は、相鉄線「星川駅」より徒歩5分ほどの住宅街にあり、定員は120名となっています。  
法人では、当園を含め、4園の保育所を運営しており、当園は、系列園の1園目として、2002年6月1日に開設しています。2015年に開設した、隣接する4園目の系列園とは、園庭を共有するなどして、日常的に交流を図っているほか、系列の全園の交流事業として、5歳児のドッジボール大会や4、5歳児の観劇などを実施しています。また、4園の職員全員が参加する法人全体会議や法人内での研修を実施しています。  
0～2歳児クラスでは、ゆるやかな育児担当制を導入し、3～5歳児クラスでは、子どもの主体性を引き出すための保育環境づくりを行って、保育理念と保育方針の実現に向けて、法人全体で取り組んでいます。  
特に配慮が必要な子どもの保育について、臨床心理士の助言を取り入れて保育の実践につなげています。  
2～5歳児クラスでは、外部講師による「リトミック」の活動を行っており、3～5歳児クラスでは、「英語」「体操」「絵画造形教室」の活動を取り入れています。  
園庭のわきに作られた「ルーナガーデン」では、季節の野菜を栽培し、子どもたちが水やりなどをしながら、野菜の生長の様子を観察し、食への興味を持てるようにしています。  
ポर्टフォリオや動画を活用して、日々の子どもの活動の様子を保護者に伝えています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月20日（契約日）～ 2023年1月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2017年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### ◆より質の高い保育の実践を目ざして、取り組みを進めています

0～2歳児クラスでの「ゆるやかな育児担当制」の実施や、3～5歳児クラスでの「子どもの主体性を引き出す保育」を実践し、一人ひとりの子どもの状況を把握し、個々の状況に応じた対応や子どもの気持ちに寄り添った言葉かけを大切に、保育を実践することを心がけています。園では、職員同士が互いの思いを伝え合い、職員間の信頼関係をより深められるよう、会議の持ち方を検討するなどしています。このように職員全体の組織力の向上を図りながら、「ゆるやかな育児担当制」や「子どもの主体性を引き出す保育」について、職員個々の理解を深め、職員間で共通認識を持ち、より質の高い保育の実践につながるよう取り組みを進めています。

##### ◆子どもたちがさまざまな体験を通して、成長できる環境を作っています

園では、さまざまな活動を組み入れて環境を整備し、子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、保育にあたっています。園庭わきのルーナガーデンでの野菜栽培や、弁当箱に給食を詰めて公園に出かけるピクニックディなどで、食に対する関心を引き出せるようにしています。外部講師による英語、リトミック、体操、絵画造形では、本物を感じながら専門的な指導を受けています。系列園と合同で行う観劇や地域との交流事業を通して、社会的なルールや態度を学んでいます。運動会や発表会、作品展では、友だちと協力し合い自分たちで考えて決めることを覚えていきます。子どもたちは、一つ一つ体験を積み重ねながら、園生活を送っています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審に際し、保護者の皆様には、第三者評価調査へのご理解、そして大変お忙しい中、アンケートのご協力を頂き、本当にありがとうございました。

今回の第三者評価受審をとおして、自分たちが日頃行っていることを振り返る時間を作り、全職員が関わり振り返ることができたことは非常に有意義な時間でした。

また、実地調査の際には、いま当保育園が取り組んでいること、取り組むべきことなど再確認するとともに、第三者に対し、自らの保育や施設、業務について言語化し説明することの大切さにも気づくことができました。

保育士同士はもちろんのこと、保護者との情報共有、地域の方への説明など、今後も自らを振り返り、どのように発信をしていくかを検討していきたいと強く感じました。また、ゆるやかな育児担当制保育や自主性・主体性を発揮できる保育、様々な経験を通して成長を実感できる保育を職員一同、今後も積み上げていけるように努力してまいります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり